

〔科目名〕 人事管理論Ⅱ				〔単位数〕 2 単位		〔科目区分〕 専門科目 基幹科目	
〔担当者〕 中川宗人		〔オフィス・アワー〕 時間:授業内で提示する 場所:505 研究室				〔授業の方法〕 講義法・反転授業	
〔科目の概要〕 この授業では、「人事管理論Ⅰ」の内容を踏まえて、人事管理を中核として形成されている「雇用システム」について学びます。雇用システムは企業の人事管理を中核としながら、企業の外部環境と関係しつつ、現代社会の働き方を広く規定している制度です。本講義では、企業社会のなかで人事管理が果たしている役割をより深く理解するために、日本的雇用システムの構造と機能について学びます。授業では以上の内容について、教科書を用いて学修していきます。原則として1回につき1章ずつ読み進めていきますので、必ず購入してください。授業方法は、事前の読書と授業内での作業を組み合わせで行います。具体的には、授業前に指定の章を予習し、わかった部分をまとめ、わからなかった部分はチェックしておきます。授業内では、教科書の内容を理解しているか、質疑応答・テスト等を通じて確認していきます。個人だけでなくグループでの作業を行う場合があります。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 人事管理は経営管理の一分野ですが、労働時間や賃金、昇進といった事項を扱うことから、何らかの組織で働く人すべてにとって身近な科目です。また現在の人事に関する戦略は、経営戦略とも密接に関わり、企業の将来をますます左右するようになっていきます。人事管理論は、労働条件といった身近な事柄だけでなく、企業の行動や経営学についてより深く理解する手がかりとなります。							
〔科目の到達目標〕 ・大学レベルの教科書を正確に読み解くことができる。 ・日本企業の雇用システムの構造と機能について説明することができる。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2 ○	DP3	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・LMS での資料の配布など、事前・事後の学修がしやすい工夫を行っています。							
〔教科書〕 佐口和郎, 2018, 『雇用システム論』有斐閣							
〔指定図書〕							
〔参考書〕							
〔前提科目〕 人事管理論Ⅰを履修していることが望ましい							

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 事務局が認める「公欠」を除いて、4 回以上欠席したものは不合格とします。 成績評価は期末試験で行います。 詳細な評価方法は初回の授業で説明します。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 教科書の指定範囲を事前に必ず講読したうえで、授業内では積極的に思考・発言することが求められます。 これらが難しい場合は単位取得が困難となりますので、計画的な履修を行ってください。 授業内での作業に配慮が必要な場合は、教務を通じて相談してください。	
〔実務経歴〕 なし	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 授業の進め方、成績評価について説明します。履修予定者は必ず出席すること。やむを得ない事情で出席できなかったものは、出席した者に連絡を取り、自身で内容を確認すること。 教科書・指定図書 教科書 はじめに
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 序章 制度としての雇用 内 容: 1 問題意識と課題 2 制度としての雇用 3 雇用関連政策と労使関係 教科書・指定図書 教科書 序章
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): 雇用制度の理論 内 容: 1 労働市場論へのスタンス 2 雇用制度の理論的枠組み 3 雇用制度の実現 4 雇用諸制度の分析枠組み 教科書・指定図書 教科書 第 1 章
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): 第 2 章 賃金制度 内 容: 1 何をどう扱うのか? 2 賃金制度の具体化 3 年功賃金制度 4 相互補完性と脆弱性 5 歴史的経路 教科書・指定図書 教科書 第 2 章
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 第 3 章 雇用調整制度 内 容: 1 何をどう扱うのか? 2 日本の雇用調整制度 3 相互補完関係と脆弱性 4 歴史的経路 5 変容 教科書・指定図書 教科書 第 3 章
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 第 4 章 採用制度 内 容: 1 何をどう扱うのか? 2 新卒一括採用制度 教科書・指定図書 教科書 第 4 章
第 7 回	テーマ(何を学ぶか): 第 5 章 退職制度 内 容: 1 何をどう扱うのか? 2 定年制度 3 相互補完関係と脆弱性 4 歴史的経路 5 変容 教科書・指定図書 教科書 第 5 章

第 8 回	テーマ(何を学ぶか):第 6 章 非正規雇用 内 容:1 何をどう扱うのか? 2 非正規雇用に関わる諸制度 3 相互補完関係と脆弱性 4 歴史的経路 5 変容 教科書・指定図書 教科書 第 6 章
第 9 回	テーマ(何を学ぶか):第 7 章 女性雇用 内 容:1 何をどう扱うのか? 2 日本の雇用システムと女性雇用① 3 日本の雇用システムと女性雇用② 4 相互補完関係と脆弱性 5 歴史的経路 6 変容 教科書・指定図書 教科書 第 7 章
第 10 回	テーマ(何を学ぶか):第 8 章 日本の雇用システムとその変容 内 容:1 雇用制度と雇用システム 2 日本の雇用システム 3 雇用諸制度 4 変容局面としての現在 教科書・指定図書 教科書 第 8 章
第 11 回	テーマ(何を学ぶか):第 9 章 雇用関連政策 1 内 容:1 何をどう扱うのか? 2 第 2 部で説明した雇用政策 3 雇用問題と貧困問題 教科書・指定図書 教科書 第 9 章
第 12 回	テーマ(何を学ぶか):第 9 章 雇用関連政策 2 内 容:4 生活維持機能の補填 5 雇用—非雇用状態の不連続性への対応 6 新しい雇用政策 の展開 7 日本の雇用政策の特質と変容 教科書・指定図書 教科書 第 10 章
第 13 回	テーマ(何を学ぶか):第 10 章 労使関係 内 容:1 何をどう扱うのか? 2 日本の労使関係の枠組み 1 3 日本の労使関係の枠組み 2 4 日本の雇用システムとの相互補完関係 5 変容 教科書・指定図書 教科書 第 10 章
第 14 回	テーマ(何を学ぶか):終章 雇用の近未来 内 容: 1 雇用制度の内側の変容 2 雇用制度の外側への変容 3 新しい働き方と直面する 課題 4 おわりに 教科書・指定図書 教科書 終章
第 15 回	テーマ(何を学ぶか):まとめ 内 容:授業内容のまとめ、質疑応答、期末試験の解説 教科書・指定図書
試 験	筆記・選択肢式:実施方法は授業内で説明します。